3 特別会計

(1) 国民健康保険(事業勘定)

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
26年度	17,080,429	19,923,397	17,250,724	410,949	2,261,724	101.0	86.6
25年度	16,901,026	20,026,505	17,253,318	355,468	2,417,719	102.1	86.2
比較増減	179,403	△ 103,108	△ 2,594	55,481	△ 155,995	△ 1.1	0.4
増減比	1.1	△ 0.5	△ 0.0	15.6	△ 6.5	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 17,250,724 千円で、予算現額 17,080,429 千円に対し 101.0%の収入率であり、調定額 19,923,397 千円に対して 86.6%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 2,594 千円(0.0%)の減少となっている。

収入済額の主なものは、国民健康保険税 4,799,824 千円(構成比 27.8%)、国庫支出金 4,100,432 千円(構成比 23.8%)、前期高齢者交付金 3,392,577 千円(構成比 19.7%)及び共同事業交付金 1,780,935 千円(構成比 10.3%)等である。

なお、収入未済額の主なものは、国民健康保険税 2,261,411 千円(前年比 93.5%)である。

また、不納欠損額は国民健康保険税 410,949 千円(前年比 115.6%)となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの、行方不明によるもの等であり、いずれも地方税法等の規定に基づき、適正な手続きにより処理されているものと認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
26年度	17,080,429	16,359,820	720,609	95.8
25年度	16,901,026	16,165,910	735,116	95.7
比較増減	179,403	193,910	△ 14,507	0.1
増減比	1.1	1.2	△ 2.0	—

本年度の歳出決算は、支出済額 16,359,820 千円で、予算現額 17,080,429 千円に対し 95.8%の執行率であり、不用額 720,609 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 193,910 千円(1.2%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、保険給付費の中の療養諸費 9,488,759 千円(構成比 58.0%)及び高額療養費 1,102,608 千円(構成比 6.7%)、後期高齢者支援金 2,396,885 千円(構成比 14.7%)、共同事業拠出金 1,782,754 千円(構成比 10.9%)及び介護納付金 1,069,373 千円(構成比 6.5%)等である。

本年度の実質収支額は、890,904 千円であり、そのうち 300,000 千円を地方自治法第 233 条の 2 の規定により小山市国民健康保険財政調整基金へ繰入し、残り 590,904 千円を翌年度へ繰越している。

(2) 介護保険

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
26年度	9,783,803	9,764,183	9,673,248	22,850	68,085	98.9	99.1
25年度	9,234,759	9,315,613	9,229,072	22,663	63,878	99.9	99.1
比較増減	549,044	448,570	444,176	187	4,207	△1.0	0.0
増減比	5.9	4.8	4.8	0.8	6.6	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 9,673,248 千円で、予算現額 9,783,803 千円に対し 98.9%の収入率であり、調定額 9,764,183 千円に対して 99.1%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 444,176 千円(4.8%)の増加となっている。

収入済額の主なものは、支払基金交付金 2,600,743 千円(構成比 26.9%)、国庫支出金 2,000,233 千円(構成比 20.7%)、介護保険料 1,945,152 千円(構成比 20.1%)、繰入金 1,653,927 千円(構成比 17.1%)及び県支出金 1,345,625 千円(構成比 13.9%)等である。

なお、介護保険料には、収入未済額 68,085 千円(前年比 106.6%)がある。

また、不納欠損額は 22,850 千円(前年比 100.8%)となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの等であり、介護保険法等の規定に基づき適正な手続きにより処理されているものと認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
26年度	9,783,803	9,499,529	284,274	97.1
25年度	9,234,759	9,029,945	204,814	97.8
比較増減	549,044	469,584	79,460	△0.7
増減比	5.9	5.2	38.8	—

本年度の歳出決算は、支出済額 9,499,529 千円で、予算現額 9,783,803 千円に対し 97.1%の執行率であり、不用額 284,274 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 469,584 千円(5.2%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、保険給付費 8,941,336 千円(構成比 94.1%)、総務費 293,113 千円(構成比 3.1%)及び地域支援事業費 184,911 千円(構成比 1.9%)等である。

本年度の実質収支額は、173,719 千円であり、そのうち 89,247 千円を地方自治法第 233 条の 2 の規定により小山市介護保険給付基金へ繰入し、残り 84,472 千円を翌年度へ繰越している。

(3) 後期高齢者医療

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
26年度	1,378,996	1,371,619	1,351,853	3,112	16,654	98.0	98.6
25年度	1,325,659	1,319,028	1,301,883	4,167	12,978	98.2	98.7
比較増減	53,337	52,591	49,970	△ 1,055	3,676	△ 0.2	△ 0.1
増減比	4.0	4.0	3.8	△ 25.3	28.3	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 1,351,853 千円で、予算現額 1,378,996 千円に対し 98.0%の収入率であり、調定額 1,371,619 千円に対して 98.6%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 49,970 千円 (3.8%) の増加となっている。

収入済額の主なものは、後期高齢者医療保険料 980,919 千円 (構成比 72.6%) 及び一般会計繰入金 320,228 千円 (構成比 23.7%) 等である。

なお、後期高齢者医療保険には、収入未済額 16,654 千円 (前年比 128.3%) がある。

また、不納欠損額は 3,112 千円 (前年比 74.7%) となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの等であり、高齢者の医療の確保に関する法律等の規定に基づき適正な手続きにより処理されているものと認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
26年度	1,378,996	1,347,375	31,621	97.7
25年度	1,325,659	1,297,167	28,492	97.9
比較増減	53,337	50,208	3,129	△ 0.2
増減比	4.0	3.9	11.0	—

本年度の歳出決算は、支出済額 1,347,375 千円で、予算現額 1,378,996 千円に対し 97.7%の執行率であり、不用額 31,621 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 50,208 千円 (3.9%) の増加となっている。

支出済額の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金 1,226,364 千円 (構成比 91.0%)、総務費 71,355 千円 (構成比 5.3%) 及び後期高齢者健診事業費 47,192 千円 (構成比 3.5%) 等である。

本年度の実質収支額は 4,478 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(4) 病院事業債管理事業

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	(C/A)	(C/B)
26年度	1,299,200	1,272,446	1,272,446	97.9	100.0
25年度	455,000	442,345	442,345	97.2	100.0
比較増減	844,200	830,101	830,101	0.7	0.0
増減比	185.5	187.7	187.7	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 1,272,446 千円で、予算現額 1,299,200 千円に対し 97.9%の収入率であり、調定額 1,272,446 千円に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の内訳は、市債 1,116,800 千円(構成比 87.8%)及び貸付金元利収入 155,646 千円(構成比 12.2%)である。

② 歳出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
26年度	1,299,200	1,272,446	26,754	97.9
25年度	455,000	442,345	12,655	97.2
比較増減	844,200	830,101	14,099	0.7
増減比	185.5	187.7	111.4	—

本年度の歳出決算は、支出済額 1,272,446 千円で、予算現額 1,299,200 千円に対し 97.9%の執行率であり、不用額 26,754 千円を生じている。

支出済額の内訳は、貸付金 1,116,800 千円(構成比 87.8%)、公債費 155,646 千円(構成比 12.2%)である。

本年度の実質収支額は 0 円である。

(5) 墓園やすらぎの森事業

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入未済額	(C/A)	(C/B)
26年度	43,000	146,885	146,661	224	341.1	99.8
25年度	111,400	189,170	188,939	231	169.6	99.9
比較増減	△ 68,400	△ 42,285	△ 42,278	△ 7	171.5	△ 0.1
増減比	△ 61.4	△ 22.4	△ 22.4	△ 3.0	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 146,661 千円で、予算現額 43,000 千円に対し 341.1%の収入率であり、調定額 146,885 千円に対して 99.8%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 42,278 千円(22.4%)の減少となっている。

収入済額の主なもの、繰越金 86,940 千円(構成比 59.3%)、使用料及び手数料 59,507 千円(構成比 40.6%)等である。

なお、手数料の墓地管理料に若干の収入未済が生じている。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 6 年 度	43,000	36,120	6,880	84.0
2 5 年 度	111,400	101,999	9,401	91.6
比 較 増 減	△ 68,400	△ 65,879	△ 2,521	△ 7.6
増 減 比	△ 61.4	△ 64.6	△ 26.8	—

本年度の歳出決算は、支出済額 36,120 千円で、予算現額 43,000 千円に対し 84.0% の執行率であり、不用額 6,880 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 65,879 千円(64.6%)の減少となっている。

支出済額の主なものは、総務費 21,581 千円(構成比 59.7%)及び公債費 14,532 千円(構成比 40.2%)等である。

本年度の実質収支額は 110,541 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(6) 与良川水系湛水防除事業

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	(C/A)	(C/B)
2 6 年 度	49,000	50,263	50,263	102.6	100.0
2 5 年 度	41,515	37,241	37,241	89.7	100.0
比 較 増 減	7,485	13,022	13,022	12.9	0.0
増 減 比	18.0	35.0	35.0	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 50,263 千円で、予算現額 49,000 千円に対し 102.6% の収入率であり、調定額 50,263 千円に対して 100.0%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 13,022 千円(35.0%)の増加となっている。

収入済額の内訳は、一般会計繰入金 37,101 千円(構成比 73.8%)、分担金 7,440 千円(構成比 14.8%)及び繰越金 5,722 千円(構成比 11.4%)である。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 6 年 度	49,000	44,547	4,453	90.9
2 5 年 度	41,515	31,519	9,996	75.9
比 較 増 減	7,485	13,028	△ 5,543	15.0
増 減 比	18.0	41.3	△ 55.5	—

本年度の歳出決算は、支出済額 44,547 千円で、予算現額 49,000 千円に対し 90.9% の執行率であり、不用額 4,453 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 13,028 千円(41.3%)の増加となっている。

支出済額の内訳は、荒川排水機場費 21,414 千円(構成比 48.1%)、与良川排水機場費 21,053 千円(構成比 47.2%)及び塩沢排水機場費 2,080 千円(構成比 4.7%)である。

本年度の実質収支額は5,716千円で、全額翌年度へ繰越している。

(7) 農業集落排水処理事業

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
26年度	639,000	616,688	604,223	563	11,902	94.6	98.0
25年度	542,188	556,478	541,937	2,469	12,072	100.0	97.4
比較増減	96,812	60,210	62,286	△1,906	△170	△5.4	0.6
増減比	17.9	10.8	11.5	△77.2	△1.4	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額604,223千円で、予算現額639,000千円に対し94.6%の収入率であり、調定額616,688千円に対して98.0%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると62,286千円(11.5%)の増加となっている。

収入済額の主なものは、一般会計繰入金466,100千円(構成比77.1%)、農業集落排水使用料及び手数料105,916千円(構成比17.5%)等である。

なお、収入未済額の内訳は、農業集落排水事業受益者分担金3,905千円(前年比84.2%)及び農業集落排水使用料7,997千円(前年比107.6%)である。

また、不納欠損額は563千円(前年比22.8%)となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの等であり、地方自治法等の規定に基づき、適正な手続きにより処理されていると認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
26年度	639,000	599,199	39,801	93.8
25年度	542,188	536,956	5,232	99.0
比較増減	96,812	62,243	34,569	△5.2
増減比	17.9	11.6	660.7	—

本年度の歳出決算は、支出済額599,199千円で、予算現額639,000千円に対し93.8%の執行率であり、不用額39,801千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると62,243千円(11.6%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、公債費374,533千円(構成比62.5%)及び総務費の中の施設管理費156,061千円(構成比26.0%)等である。

本年度の実質収支額は、5,024千円で、全額翌年度へ繰越している。

(8) 小山第四工業団地造成事業

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	(C/A)	(C/B)
26年度	221,000	179,355	179,355	81.2	100.0
25年度	309,100	289,942	289,942	93.8	100.0
比較増減	△ 88,100	△ 110,587	△ 110,587	△ 12.6	0.0
増減比	△ 28.5	△ 38.1	△ 38.1	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 179,355 千円で、予算現額 221,000 千円に対し 81.2% の収入率であり、調定額 179,355 千円に対して 100.0% の収入率である。

収入済額の内訳は、市債 178,200 千円（構成比 99.4%）及び一般会計繰入金 1,155 千円（構成比 0.6%）である。

② 歳出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
26年度	221,000	179,355	41,645	81.2
25年度	309,100	289,942	19,158	93.8
比較増減	△ 88,100	△ 110,587	22,487	△ 12.6
増減比	△ 28.5	△ 38.1	117.4	—

本年度の歳出決算は、支出済額 179,355 千円で、予算現額 221,000 千円に対し 81.2% の執行率であり、不用額 41,645 千円を生じている。

支出済額の内訳は、工業団地造成事業費 179,124 千円（構成比 99.9%）及び公債費 231 千円（構成比 0.1%）である。

本年度の実質収支額は 0 円である。

(9) 公共用地先行取得事業

① 歳入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	(C/A)	(C/B)
26年度	199,857	169,441	169,441	84.8	100.0
25年度	190,100	181,659	181,659	95.6	100.0
比較増減	9,757	△ 12,218	△ 12,218	△ 10.8	0.0
増減比	5.1	△ 6.7	△ 6.7	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 169,441 千円で、予算現額 199,857 千円に対し 84.8% の収入率であり、調定額 169,441 千円に対して 100.0% の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 12,218 千円(6.7%) の減少となっている。

収入済額の主なものは、一般会計繰入金 98,140 千円(構成比 57.9%)及び市債 71,300 千円(構成比 42.1%) 等である。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 6 年 度	199,857	169,440	30,417	84.8
2 5 年 度	190,100	181,657	8,443	95.6
比 較 増 減	9,757	△ 12,217	21,974	△ 10.8
増 減 比	5.1	△ 6.7	260.3	—

本年度の歳出決算は、支出済額 169,440 千円で、予算現額 199,857 千円に対し 84.8%の執行率であり、不用額 30,417 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 12,217 千円(6.7%)の減少となっている。

支出済額の内訳は、公債費 94,567 千円(構成比 55.8%)及び公共用地先行取得費 74,873 千円(構成比 44.2%)である。

本年度の実質収支額は 1 千円で、全額翌年度へ繰越ししている。

(10) 公共下水道事業

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
2 6 年 度	4,973,200	5,080,793	5,016,827	6,779	57,187	100.9	98.7
2 5 年 度	5,034,179	4,845,435	4,780,858	7,456	57,121	95.0	98.7
比 較 増 減	△ 60,979	235,358	235,969	△ 677	66	5.9	0.0
増 減 比	△ 1.2	4.9	4.9	△ 9.1	0.1	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 5,016,827 千円で、予算現額 4,973,200 千円に対し 100.9%の収入率であり、調定額 5,080,793 千円に対して 98.7%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 235,969 千円(4.9%)の増加となっている。

収入済額の主なもの、市債 1,391,600 千円(構成比 27.7%)、一般会計繰入金 1,340,000 千円(構成比 26.7%)、下水道使用料及び手数料 1,282,568 千円(構成比 25.6%)及び国庫支出金 719,110 千円(構成比 14.3%)等である。

なお、収入未済額の主なもの、下水道使用料 40,233 千円(前年比 112.4%)及び公共下水道受益者負担金 16,833 千円(前年比 79.4%)等である。

また、公共下水道受益者負担金 4,505 千円(前年比 104.5%)及び下水道使用料 2,274 千円(前年比 72.3%)が不納欠損となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの、行方不明によるもの等であり、都市計画法及び地方自治法等の規定に基づき、適正な手続きにより処理されていると認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
2 6 年 度	4,973,200	4,877,259	0	95,941	98.1
2 5 年 度	5,034,179	4,624,025	185,000	225,154	91.9
比 較 増 減	△ 60,979	253,234	△185,000	△ 129,213	6.2
増 減 比	△ 1.2	5.5	皆減	△ 57.4	—

本年度の歳出決算は、支出済額 4,877,259 千円で、予算現額 4,973,200 千円に対し 98.1%の執行率であり、不用額 95,941 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 253,234 千円(5.5%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、公債費 2,261,276 千円(構成比 46.4%)、公共下水道建設費 1,654,347 千円(構成比 33.9%)及び総務費の中の施設管理費 782,116 千円(構成比 16.0%)等である。

本年度の実質収支額は 139,568 千円で、全額翌年度へ繰越している。

4 財 産

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

平成 26 年度末における土地及び建物現在高は、土地（地積）については 3,577,525.48 m²、建物については、木造（延面積）8,968.13 m²、非木造（延面積）373,750.09 m²となっている。

これを前年度と比較すると、土地は 181,344.86 m²増加し、建物では木造が 324.71 m²減少、非木造が 491.85 m²増加している。

内容についてみると、土地の増加の主な事由は、緑の健康づくりの森、桑地区中心施設、大谷東小学校増築用地の購入等によるものである。建物では木造の減少の主な事由は、故小野塚イツ子氏遺贈財産の払下げに伴うものである。非木造の増加の主な事由は、健康医療介護総合支援センターの建設等に伴うものである。

土地・建物の現在高		(単位 m ²)		
区 分	25年度末現在高	26年度中増減高	26年度末現在高	
土 地 (地 積)	3,396,180.62	181,344.86	3,577,525.48	
建 物	木 造 (面 積)	9,292.84	△ 324.71	8,968.13
	非 木 造 (面 積)	373,258.24	491.85	373,750.09
	計	382,551.08	167.14	382,718.22

イ 山 林

平成 26 年度末の現在高は、平成 10 年度に購入した並木杉 1 本である。

ウ 出資による権利

平成 26 年度末における出資による権利は 2,115,860 千円で、年度中の増減はない。

(2) 物 品

平成 26 年度末における財産的備品の現在高は 1,402 件で、年度中の増減は 26 件の減少である。

(3) 債 権

平成 26 年度末における債権の現在高は 2,159,303 千円で、年度中の増減は 965,580 千円の増加となっている。増加の要因は、住宅新築資金貸付金、奨学資金貸付金等が減少したものの、主に地方独立行政法人新小山市市民病院長期貸付金が大きく増加したためである。

(4) 基金

ア 小山市国民健康保険財政調整基金

平成26年度末における現在高は854,781千円である。平成25年度の剰余金600,000千円、預金利子209千円と繰替運用利子105千円を積立てたことにより600,314千円の増加となっている。

イ 小山市財政調整基金

平成26年度末における現在高は1,076,427千円である。小野塚氏財産売払分11,054千円、小野塚氏不動産賃借料678千円、一般財源344,911千円、預金利子289千円と繰替運用利子126千円を積立てたことにより357,058千円の増加となっている。

ウ 小山市育英基金

平成26年度末における現在高は5,403千円で、預金利子を積立てたことにより1千円の増加となっている。

エ 小山市社会福祉基金

平成26年度末における現在高は83千円で、預金利子が少額のため昨年度と同額となっている。

オ 小山市住宅新築資金等借入償還基金

平成26年度末における現在高は0千円である。貸付金回収金3,756千円と少額の預金利子を積立て、3,756千円を取り崩したことにより同額となっている。

カ 小山市体育館建設基金

平成26年度末における現在高は966,403千円で、預金利子341千円と繰替運用利子116千円を積立てたことにより457千円の増加となっている。

キ 小山市市債管理基金

平成26年度末における現在高は363,900千円である。預金利子78千円と繰替運用利子69千円を積立てたことにより147千円の増加となっている。

ク 小山市立博物館資料取得基金

平成26年度末における現在高は6,958千円である。一般財源5,000千円と預金利子1千円を積立てたことにより5,001千円の増加となっている。

ケ 小山市庁舎建設基金

平成26年度末における現在高は1,305,174千円である。預金利子532千円と繰替運用利子229千円を積立てたことにより761千円の増加となっている。

- コ 小山市児童生徒交流基金
平成 26 年度末における現在高は 14,014 千円である。寄付金 80 千円と預金利子 3 千円を積立てたことにより 83 千円の増加となっている。
- サ 小山市高齢者地域福祉基金
平成 26 年度末における現在高は 38,293 千円で、預金利子 16 千円を積立て、高齢者の保健福祉の増進等地域福祉の向上に資する事業の財源に充てるため 20,000 千円を取り崩したことにより 19,984 千円の減少となっている。
- シ 小山市勤労者総合福祉センター建設基金
平成 26 年度末における現在高は 19,104 千円で、預金利子を積立てたことにより 5 千円の増加となっている。
- ス 小山市介護保険給付基金
平成 26 年度末における現在高は 20,813 千円である。平成 25 年度の剰余金 118,866 千円と預金利子 85 千円を積立て、介護保険給付の財源に充てるため 217,533 千円を取り崩したことにより 98,582 千円の減少となっている。
- セ 小山市グラウンドワーク基金
平成 26 年度末における現在高は 49,217 千円である。寄付金 5,508 千円と預金利子 19 千円を積立て、グラウンドワーク事業の財源に充てるため 8,159 千円を取り崩したことにより 2,632 千円の減少となっている。
- ソ 小野塚記念青少年健全育成基金
平成 26 年度末における現在高は 94,050 千円である。預金利子 47 千円を積立て、青少年の育成を目的とした事業の財源に充てるため 620 千円を取り崩したことにより 573 千円の減少となっている。
- タ 小山市文化芸術振興基金
平成 26 年度末における現在高は 74,947 千円である。預金利子 37 千円を積立て、文化芸術の振興及び活動の支援事業の財源に充てるため 2,915 千円を取り崩したことにより 2,878 千円の減少となっている。
- チ 小山評定ふるさと応援基金
平成 26 年度末における現在高は 4,197 千円である。寄付金 4,197 千円と少額の預金利子を積立て、個性と活力のある住みよいまちづくりを推進する事業の財源に充てるため 1,169 千円を取り崩したことにより 3,028 千円の増加となっている。
- ツ 小山市東日本大震災復興推進基金
平成 26 年度末における現在高は 29,208 千円である。寄付金 52 千円と預金利子 8 千円を積立てたことにより 60 千円の増加となっている。

テ 小山市平和基金

平成 26 年度末における現在高は 1,132 千円である。平和募金 67 千円と少額の預金利子を積立てたことにより 67 千円の増加となっている。

ト 小山市子ども甲状腺検査基金

平成 26 年度末における現在高は 72,018 千円である。一般財源 24,000 千円と預金利子 12 千円を積立てたことにより 24,012 千円の増加となっている。

ナ 新小山市市民病院建設基金

平成 26 年度末における現在高は 319,114 千円である。預金利子 166 千円と繰替運用利子 39 千円を積立て、新小山市市民病院建設事業の財源に充てるため 251,000 千円を取り崩したことにより 250,795 千円の減少となっている。

ニ 運用基金である小山市土地開発基金と小山市国民健康保険高額療養資金貸付基金については、次のとおりである。

各基金運用状況の概要

1 小山市土地開発基金

この基金の管理運用状況は次表のとおりである。

表 1 基金の年度末現在高 (単位 千円)

区 分	25年度末現在高	26年度中増減高	26年度末現在高	
基金の額	632,541	20	632,561	
内訳	現金	83,268	20	83,288
	土地	549,273	0	549,273

表 2 基金の運用状況

ア 現金 (単位 千円)

区 分	金 額	
受入	前年度繰越金	83,268
	運用益金	20
	土地売払金	0
	合計	83,288
払出	一般会計繰出金	0
差引残高		83,288

イ 土地 (単位 m²・千円)

区 分	面 積	金 額
25年度末現在高	8,495.54	549,273
購入高	0.00	0
売払高	0.00	0
26年度末現在高	8,495.54	549,273

本年度末の基金の現在高は 632,561 千円で、これを前年度と比較すると 20 千円の増加となっている。これは現金において預金利子 20 千円が増加したためである。

2 小山市国民健康保険高額療養資金貸付基金

この基金は10,050千円の原資で運用され、その管理運用状況は次表のとおりである。

表3 基金の年度末現在高

(単位 千円)

区 分		25年度末現在高	26年度中増減高	26年度末現在高
基金の額		10,050	1	10,051
内 訳	現金	10,050	1	10,051
	貸付金	0	0	0

表4 基金の運用状況

ア 現金 (単位 千円)

区 分		金 額
受 入	前年度繰越金	10,050
	貸付金返還金	1,919
	運用益金	1
	合 計	11,970
払出	貸付金	1,919
差引残高		10,051

イ 貸付金 (単位 千円)

区 分	件 数	金 額
25年度末現在高	0	0
貸付金	5	1,919
貸付金返還金	5	1,919
26年度末現在高	0	0

本年度中の貸付件数は5件、貸付金額は1,919千円で、前年度と比較すると件数は7件(58.3%)減少となり、金額は330千円(20.8%)増加となっている。